

**103 城西中学校**  
**地域とともにある学校づくり**

**小中一貫教育の実践（教育活動の方向性）**

中学校区の目指す子ども像	共生「他者を尊重し、多様な人たちと協働しながら社会の変化を乗り越え、幸せな人生をつくる力」を身に付けた生徒
我が校の目指す子ども像	○道徳的に成熟した生徒 ○自己効力感・責任感の高まった生徒 ○望ましい学習習慣を身につけた生徒 ○主体的に学習に取り組む生徒



小中一貫教育の具体的な取組	
我が校の取組	中学校区の取組
・各学年部会に外部指導者を招聘、部落問題学習の指導案検討と授業公開 ・GoogleMeet を活用した各小学校への授業公開配信（各学年2回）	・子どもや地域の実態に即した小中9年間の一貫した教育課程の編成 ・「地域子どもを育てる会」と連携した中学校区の健康課題に基づいたリーフレットの作成、継続的な健康教育や食育の実施 ・人権教育、同和教育の授業公開
成果○と課題■	成果○と課題■
○昨今インターネットを介した人権侵害が問題視されることから「インターネットの特性を加味した部落問題学習」の構築に取り組んだ。 ■実践を進めている「インターネットの特性をふまえた部落問題学習」を来年度も継続して実践し、社会や情報技術による変化に対応した人権教育、同和教育の実践を蓄積していく。	○地域青少年育成会議と連携した小・中学校間の行事交流（あいさつ運動）、求める生徒像の共通理解、学習の重点の共有等を図った。 ■小学校から中学校への切れ目のない教育の実現に向けて、中学入学時に背伸び感が出ないように、必要に応じて、小中9年間の教育課程について、見直しを図っていく必要がある。

**〈夢・志チャレンジスクール事業の取組（地域とともにある学校づくり実践）〉**

取組の概要	主な活動内容	
・当校の教育活動の中核をなすものは、「共生」である。 様々な行事に共通しているのは、他者を尊重し、多様な人たちと協働することである。活動を通して、自己肯定感や自己有用感を高め、自己実現を志す生徒を育てることをねらいとした。事業所の方から話を聞いて自己を見つめ直すことで、今後の生き方を考える機会になった。	総合	「職業人に学ぶ会」（2年生）
	総合	「職業人に学ぶ会」（1年生）
	音楽	「音楽祭」（全校）
学校運営協議会の評価 ・生徒の主体性を引き出すために、それぞれの行事が充実している。今後も「共生」の理念に近づくように、各活動を充実させてほしい。 ・直接、生徒の声を聞く機会を、今後も設定してほしい。	夢・志チャレンジスクール事業の取組は、目指す子ども像の実現に有効であった	
	○	当てはまる
		どちらかという当てはまる
		どちらかという当てはまらない
	当てはまらない	

# スクールマネジメント実践報告書

## 学校運営協議会の活動内容

学校運営協議会の委員の構成									
教職員	1人	保護者	2人	住 民	7人	その他	1人	合計	11人
学校運営協議会の回数 ※( )は、回数内における紙面協議回数	学校単独	1学期	1回 (0)	2学期	0回 (0)	3学期	1回 (0)	合計3回 (0)	
	中学校区合同 ※中学校区で同数にする	1学期	回 ( )	2学期	回 ( )	3学期	回 ( )	合計 回 ( )	

活動の内容	成果○と課題■
<p>・第1回、第3回は委員による会議のみ、第2回は生徒会執行部を中心とした「校則見直し委員会」に参加し、意見交換を行った。毎回、学校の教育活動に対して建設的な意見交換が行われた。委員には、後援会会長、町内会長、地域青少年育成会議長等が所属しており、各種団体との学校の教育方針の理解と協力が得られやすい。学校の課題やニーズをより具体的に伝え、様々な視点から意見を交わすことにより、今後の取組についてご示唆をいただいた。</p>	<p>○昨年より発行している「学校運営協議会だより」で、会議の内容や生徒たちの様子について発信した。</p> <p>○委員の方から、生徒たちに直接、意見を伝える機会を設定することができ、生徒たちの主体性を引き出すことができた。</p> <p>■第3回の会議開催の日程調整がうまく行かず、参加者が少なかった。日頃から、連絡等をこまめに行い、お互いに意見を言いやすい環境を作りたい。</p>

総 括
<p>今年度も新型コロナウイルスの影響で、様々な活動が制限された。その中でも、感染対策に配慮し、運営方法等を工夫して、保護者や地域の皆様から生徒の活動を見ていただく機会を昨年よりも多く設定することができた。地域の方々から支えられ、様々な活動ができるありがたさを感じながら、今後も地域と連携しながら、教育活動を充実させていきたい。</p>

### 〈活動写真〉



○GoogleMeet で部落問題学習の授業配信を行った。授業後、参観いただいた先生方とメールで交流する等、小中学校間で授業改善を図った。



○3年ぶりに上越文化会館で合唱祭を開催することができた。地域、保護者の方から生徒の姿を直に見ていただくことができた。



○校則見直し委員会で、CS委員等からも参加いただき、意見交換を行った。生徒たちのこれまでの取り組みを説明し、地域の方に理解していただくよい機会となった。